

# ツナガリから作る新しい復興支援のかたち

## ～ここからシンカする岩手～



主催：岩手もりおか復興ステーション・盛岡市 共催：株式会社イトーキ 後援：岩手県、岩手県沿岸振興局

### 『今から出来ること。今からしか出来ないこと。一緒に考え、実行しませんか？』

東日本大震災から3年が経ちました。首都圏では被災地の情報も少なくなっており、風化してしまっているのが現状ではないでしょうか。確かに元気な東北を垣間見ることができるようになりましたが、同時に『この3年で販路が絶たれてしまった』『地元へ人（お客）がいない』など、それぞれの困難な状況にいるのが現実であります。

そこで今回、食・工芸・人・観光・・・と多様な資源を持ちながらも“課題先進地”である岩手との関わり方を広く提案し、多くの企業・個人の方に参画いただき実際に関わっていただけるよう取り組んでまいります。

その第一弾とし、下記の通りシンポジウムを開催いたします。是非もう一度、ともに考えてみませんか？

### 第一回：シンポジウム『岩手を知る』

日時 平成26年7月4日（金）シンポジウム 13：00～17：30 / 懇親会（有料）17：45～19：45

会場 イトーキ東京イノベーションセンター-SYNQA（東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワー）

参加 SYNQAホームページよりお申込をお願い致します。（※必須） <http://www.synqa.jp/event/1416/>



#### ●スケジュール●

#### 1. ご案内

#### 2. 基調講演

『復興の現場からの報告』 復興庁岩手復興局 末村祐子氏

#### 3. 事例発表

ー三陸鉄道株式会社 運行本部長 金野淳一氏

ーキリン株式会社 CSV推進部キリン絆プロジェクト 浅井隆平氏

ーヤフー株式会社 長谷川琢也氏

#### 4. 体験ワークショップ～岩手の手しごと体験～

（右記を参照の上、お申込時に一つお選びください。）

ー①『漁師の網み方』 佐々木勝正氏

～被災した元漁師が教える、漁網の技法を用いたコースター作り。

ー②『ガレキキーホルダーの作り方』 一般社団法人和リングプロジェクト

～被害を受けた家屋。そのガレキをキーホルダーにします。被災者の方が実際に仮設住宅の中で行う作業も体験できます。

ー③『三陸の和グルミのイロイロ』 ファームステーション

～古くから重宝されてきた和グルミ。伝統的な割り方を体験し、食材以外にも活用できる和グルミをご紹介します。

#### 5. アイデア出しワークショップ

各業種（観光業、教育、医療・健康・・・等）をテーマとし、首都圏の様々なセクター混在のグループを作りワークショップを行います。

#### 6. 懇親会～東北の食と酒を堪能ください～（別途申し込み）

ー出張！『浜焼きBAL Tregion』より生ウニ！

ー大船渡市“恋し浜”より直送！『ホタテ』♪

etc…



#### ●体験ワークショップについて●

##### ①漁師の編み方

岩手県山田町で被災し盛岡へ移住した元漁師・佐々木勝正氏。漁網を編む技法を活かしハンモックやバッグを製作、さらに盛岡で『編み方教室』を開催し被災者や地域住民に指導。盛岡より来場。



##### ②ガレキキーホルダーの作り方

岩手県釜石市・大槌町を拠点とし仕事作りを行う和リングプロジェクト。仮設住宅内で出来る手しごとを提供。被災した地元住民が主体的に活動。スタッフが岩手県釜石市より来場。



##### ③三陸の和グルミのイロイロ

被災者雇用を目的に行う三陸の和グルミプロジェクト。食材のみならず美容素材としても多様な可能性を持つ和グルミについて！和グルミオイルを使用した石けんをお試しいただけます。



お申込（※必須） <http://www.synqa.jp/event/1416/>（ご希望される体験WSをお選びください。）

お問い合わせ：岩手もりおか復興ステーション 北田・細江 03-3556-5012 / info@iwate-morioka.com